

梅雨が明ければ、待ちに待った夏の到来です。
生活道路では夏休みで元気な子供たちに注意！



スプラッシュマウンテン

この映像の訴求ポイントは…

◎冠水した道には進入してはいけません！

◎ゲリラ豪雨時は無理をせず、外出を控えましょう。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



歩行者接触事故

この映像の訴求ポイントは…

◎「いける」と思った瞬間こそ要注意。サンキュー事故も同じ。

◎見えない死角は頭を動かして目視を確認を。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



子供の飛び出し はねる寸前・・・。

この映像の訴求ポイントは…

◎対向車線の車列の切れ目は飛び出しに要注意！

◎車列の通過は徐行が鉄則。足はブレーキペダルに。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



あわや

この映像の訴求ポイントは…

◎急がず、焦らない運転が無事故の秘訣。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



やられました・・・

この映像の訴求ポイントは…

◎車間距離をあけていないと、もらい事故でも加害者に。

◎ヘッドレストを後頭部に合わせましょう（追突対策）。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

【コラム】制限速度、守ってますか？

国産車でのスピードのメーター表示は、実際の速度よりも少し高めに表示されている車種が多いこと、ご存知ですか？例えば、メーター表示で100km/hのときは実際の速度は90～94km/hくらい、というように、1割増し程度の表示が多いようです。ならば「50km/h」の標識がある道路ならば、メーター表示で55km/hで走行すれば違反ではない???

むしろ流れのよい幹線道路などではメーター表示で70km/h（実際は64km/h程度？）近くの速度が出ていることもあるのが実情ではないでしょうか。都市高速では、道路構造上から「60km/h」規制の場所も多いですが、すいている夜間などは、メーター表示80～100km/hで流れていることも。残念ながら速度違反は常態化しているのが実情と言えます。

このような主要幹線道路や高速道路での実勢速度との乖離については、国も見直しに向けて検討を始めています。その一方で、生活道路については「ゾーン30」規制など面的な低速度規制を推進しています。

生活道路では、車と人・自転車等が接触する危険が大きく、交通事故のデータからは、車の速度が30km/hを超えると衝突した相手（人や自転車）の死亡率が急激に増えることが分かっています。生身の人に鉄の塊がぶつかるわけですから、衝突時の速度が人の身体に与えるダメージの大きさに直結するわけで、その致命傷になるか否かの分岐点が30km/hなのです。

メーター表示で30km/hであれば、実際の速度は26～28km/h程度で、仮に事故が起きても相手の命が助かる可能性は高いこととなります。また、30km/h以下の速度だと運転操作にも余裕が出来ますので、事故や危険を未然に回避することも可能になります。生活道路はメーター表示30km/h以下を遵守して走行することを常識にしたいですね。



生活道路では、路地から人や自転車が飛び出してくることも少なくありません。
制限速度を守り、特に狭い道路や見通しが悪い場所は20km/h以下に徐行しましょう。